



特別レポート2

地域金融機関と日本公庫の連携による 広域ビジネスマッチング

地 方の事業者にとって販路拡大、とりわけ首都圏への販路開拓は課題となっている。地域金融機関にとっても販路拡大支援は重要な本業支援の1つだが、「首都圏にネットワークがない」といった理由で十分なサポートが行き届かないところも少なくないだろう。

そうした中で、南九州の地域金融機関に活用してほしいスキームが、本稿でご紹介する「金融機関と日本政策金融公庫の連携による広域マッチング」(以下、本スキーム)だ。これは日本政策金融公庫(以下、日本公庫) 国民生活事業本部東京広域営業推進室が、日ごろから連携する関係機関とのつながりを活かして買手企業を探し出し、販路開拓を目指す熊本県、宮崎県および鹿児島県の売手企業と結びつけるスキームだ。

今年6月、宮崎太陽銀行が

本スキームを活用。宮崎県宮崎市に本社を置く「オカザキ食品」と、埼玉県さいたま市の「多国籍料理居酒屋FANTASTA13」とのマッチングに至ったという。宮崎と埼玉という離れた地域でもスムーズなマッチングを実現する本スキームの特徴などを紹介したい。

伴走支援の中で 販路拡大ニーズを把握

宮崎太陽銀行はウィズコロナ・アフターコロナを見据え、取引先の本業支援に注力。経営者との対話等により真の経営課題を把握したうえで、伴走支援に努めている。宮崎県のブランド牛『みやざきハーフ牛』のローストビーフを製造販売するオカザキ食品から「自社の商品を首都圏にも広めたい」という相談を受けたのも伴走支援の過程でのことだった。

宮崎太陽銀行では、2019年度より販路開拓支援業務「本業サポートWith」をスタートさせている。本業務は、対象企業の商品・サービスを独自のヒアリングシートにより深掘することで、行員が取引先企業の営業マンとして機能することを目指した、従来のビジネスマッチングより一歩踏み込んだ販路開拓支援業務である。

オカザキ食品についても本業務の対象企業の1社であり、今回、日本公庫への案内の際も、宮崎太陽銀行にて作成したオリジナルのカタログ等を利用して商品の詳細情報を日本公庫に提供した。

「オカザキ食品様には味を損なわず肉をカットできる独自の技術があり、その技術を活かして作られるローストビーフは高い評価を得ています。同社の朝比奈慶一社長も常々『首都圏の飲食店でも取り扱

ってもらいたい」とおっしゃっていました。ただ当行は営業エリアが限定されており、首都圏となるとネットワークが不足していたこと、また保存が難しい食品につき離れた

●宮崎太陽銀行●



地域活性化部・山本孝一 部長代理



営業統括部・三城純也 部長代理

商談会への出展が難しかったことから、首都圏への販路拡大に頭を抱えていたのです(宮崎太陽銀行地域活性化部・山本孝一 部長代理) そこで宮崎太陽銀行が相談したのが日本公庫である。宮崎太陽銀行と日本公庫は業務連携・協力にかかる覚書を結んでおり、定期的な情報交換や協調による創業支援を行っていた。

「全国に拠点がある日本公庫であれば、首都圏の企業ともつながりがあり、信頼できる買手企業を探していただけののではないかと考えました。オカザキ食品も日本公庫と取引があったことから、朝比奈社長に許可いただき相談してみたのです」(宮崎太陽銀行営業統括部・三城純也 部長代理)

首都圏で売りたいので買手企業を探してほしい——宮崎太陽銀行から相談を受けた日

本公庫宮崎支店の会田晋之介融資第二課長は、東京広域営業推進室に協力を依頼。要請を受けた東京広域営業推進室の中村幸治室長は次のように話す。

「日本公庫はウェブサイトからお客様が自由に提携先を探すことができる『インターネットビジネスマッチング』などによりビジネスマッチング支援を行っています。しかしながら、今回のように地域金融機関と連携したビジネスマッチング支援のスキームは構築されていませんでした。宮崎太陽銀行からのご相談をきっかけに、新たな切り口での実効性の高いビジネスマッチングの仕組みを作りたい——そう考えて本スキームを考え出したのです」

提携する関係機関に 買手企業を探してもらう

本スキームの最大の特徴は

日本公庫東京広域営業推進室が連携する関係機関に買手企業を探してもらうというものの。東京広域営業推進室は上場企業など200超の関係機関と連携し、一緒に創業支援や経営支援を行っている。本スキームでは、東京広域営業推進室が、連携する関係機関の中から、首都圏の飲食店との取引実績がある等の基準で10社をピックアップ。その10社に「オカザキ食品のローストビーフを購入していただける企業を紹介していただきたい」と打診したのだ。

結果的にその10社を通じて買手企業候補3社の紹介を受けた。東京広域営業推進室はこの3社を宮崎太陽銀行に紹介。その中に多国籍料理居酒屋FANTASTA13があった。宮崎太陽銀行はオカザキ食品に買手企業候補の情報を与え、サンプル送付や価格交渉などにつなげたとい